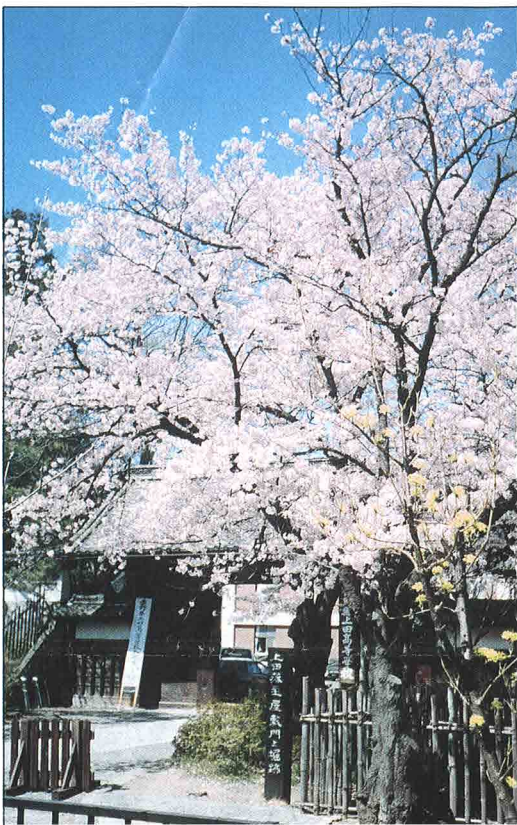




理事会に部会制導入 笠原新理事長体制スタート

昨年十月同窓会理事会は新体制でスタートした。これは役員任期満了に伴うもので、新理事は50期代から70期代が就任、若返った。

理事会は昨年十月六日に開き理事長に笠原一洋(53期)、副理事長に和田智晴(51期)、丸山正一(56期)、小山正子(57期)の各氏を選出。理事会内に部会制を採用し、総務部



4月4日、入学式に桜が満開？!

この時期に桜が満開になるのは上田高校の歴史始まって以来のことだろう。新入生を祝福するかのようには咲き誇っていた。



教育文化の発展に寄与

信一郎(71期)、森浩二(73期)の各氏。また監事三人のうち新任は二人で丸山はる代(65期)、飯島康典(67期)の両氏。元理事長金子八郎氏(39期)、前理事長水海春海氏(42期)は顧問に推戴された。

理事長 笠原 一洋

伝統ある上田高校同窓会、昨年今年と理事会・代議員会が新しいメンバーになりました。新しい組織で社会も学校も変わるこの変革の時代に呼応した同窓会運営に心がけ、定款にそって親睦研修だけでなく、教育文化の発展にも寄与していききたいと思えます。

平成14年度
会員大会(総会)ご案内

★期日 **9月14日(土)**

会 場 上田東急イン 国際クリスタルホール
上田市天神 4-24-1
TEL 0268-24-1401
上田駅温泉口(千曲川側)から歩いて2分

受 付 15:00
開 会 16:00
懇 親 17:30
会 費 5,000円

(社) 上田高等学校同窓会

校長に同窓の小山壽一先生

母校の新しい校長として小山壽一先生が着任した。小山先生は母校65期の同窓生。慶応義塾大学を卒業され教職に。長野高校、上田染谷丘高校、中・高交流人事で東部中学、東部高校、富士見高校と転任のあと、教頭として坂城高校に赴任。県教委高校教

お堀 ばた

三月本校百期生が古城の門を出で立ち、百三期生の入学式が満開の桜の下で執り行われるという本校の歴史の中でも稀な季節感となった。数年前にはお堀りの柳の太い枝が、昨年樹齢三十年の柳の木が幹の腐れから倒れた。▼三十年前に比べると上田の地も大きく変わっている。盆地には所狭しと家が立ち並び、田畑も確実に減少、農業後継者は減少の一途。増加する自動車、整備された道路に目を見張るが、のどかな山並みが削られ工業団地と化した脇を通れば胸も痛む。太郎山の逆さ霧はまだまだに健在、どことなく昔の情景を思い起こさせてくれるのだが。▼週五日制が導入され、来年度からは新学習指導要領が高校でも実施される。改装された同窓会館の一階学習室も大いに活用されよう。「生きる力」が強調される昨今、いよいよ国際社会の中で判断を避けうる人権感覚豊かな人材の育成が求められよう。若人の多くが日々迷いつつも、進路を模索し、勉学に励み、また、班活動・生徒会活動にと前向きな取り組みをしている。▼地球環境が保全され、若人が希望をもてる、平和で土にしっかりと足をつけた社会の構築のために、同窓生諸氏の尽力をお願いしたい。祝福の桜となることを願いつつ。(亨)

紙面案内

- P 2 代議員会の報告 会費制導入検討へ
- P 3 新校長インタビュー 支部だより
- P 4 《カラー》 ふるさとだより
- P 5 《カラー》 山極勝三郎顕彰会ほか
- P 6 母校の班活動紹介
- P 7 同期会だより OB会つうしん
- P 8 《カラー》事務局からのお知らせ 進路状況

良き先輩後輩の関係保つ

代議員会で笠原理事長

平成十四年度の代議員会は五月二十五日開かれ、同窓会館二階ホールに代議員約二百人が出席した。

十三年度の事業報告、一般会計・特別会計決算報告、監査報告、それに十四年度の事業計画・予算案を原案どおり承認した。

また、十四年度の「会員大会」を九月十四日(土)午後四時から上田市の上田東急インで開催することを決めた。笠原理事長はあいさつで「上田高校同窓会が良き先輩後輩の関係を保ち、地域一番

の同窓会になりたい、なるように努力したい」と意欲を表した。また、小山校長はあいさつの中で、今年から始まった学校週五日制への対応などについて説明した。

会費制導入を検討へ

同窓会の十三年度決算・十四年度予算は別掲のとおりだが、十四年度の予算規模は前年に比べて縮小されている。

これは書籍特別会計からの繰入れがないことが大きな理由。

維持会費の納入状況は下に掲げるが、平成七年度の七百万円をピークに減少傾向となっている。同窓会事務局では同窓会運営のために、ぜひとも多くの会員に維持会費の納入を呼びかけている。

来年の代議員会に具体案

ところで、理事会の総務部会では、会員から「同窓会費を納入していただく事を検討して行きたい」として「維持会費」制に代えて「同窓会費」制を導入したい考えだ。

同窓会の運営に必要な予算規模は一千五百万円〜一千八百万円。しかし、現在は一千三百万円くらいしか確保できないという。その内訳は新入生からの入会金、会館維持会費、会館の利用収入、会員大会・代議員会参加者負担金、会報広告収入だ。

反面、会館は冷暖房などで維持費の支出増加は避けられない状況だ。

現在維持会費を納入している同窓生は二千八百余人で、全体のおよそ一割。総務部会としては同窓会費制の導入でもっと広く会費を集めたい考えだ。

各期・各地の同窓会・支部からも参加したプロジェクトチームで具体案の検討を進め来年度の代議員会で原案を示

したいとしている。総務部会では「ご意見・ご提案を今年十月ごろまでに事務局へ寄せてほしい」と話している。

なお、UFJ信託銀行(旧東洋信託)の金銭信託からの会費自動振替については、新規預け入れは銀行の都合で中止となっている。ただ、中途解約は避けて下さいと理事会では呼びかけている。

【一般会計】

13年度決算額・14年度予算額(要約)

●収入の部

(単位:円)

科 目	13年度決算額	14年度予算額
会費・入会金		
新入生入会金	3,970,000	3,930,000
維持会費	5,897,150	5,300,000
その他	2,033,000	1,986,000
事業収入		
会報広告収入	600,000	600,000
維持負担金	846,000	1,730,000
その他科目	2,414,228	10,000
前年度繰越金	4,560,318	1,778,403
合 計	20,320,696	15,334,403

●支出の部

(単位:円)

科 目	13年度決算額	14年度予算額
事業費		
会報関係費	1,256,765	3,000,000
その他	1,461,114	1,686,100
管理費		
人件費	4,466,400	4,464,000
会議費ほか	2,561,610	2,400,000
通信費	2,565,284	600,000
その他	3,231,120	2,968,000
予備費	0	216,303
百周年特別会計繰入	3,000,000	0
合 計	18,542,293	15,334,403
13年度収支差額	1,778,403	(14年度へ繰越)

平成13年度「同窓会維持会費」期別拠出額一覧表

(単位:円)

期	人数	金額	期	人数	金額	期	人数	金額
25以前	15	15,500	44-5	72	140,500	62	30	100,000
26	6	13,000	44-4	57	108,000	63	49	94,000
27	5	5,000	45	11	18,500	64	67	121,000
28	9	12,000	46	50	94,000	65	69	138,000
29	11	19,000	47	55	128,500	66	40	82,000
30	5	9,000	48	73	154,450	67	39	65,000
31	16	34,000	49	85	168,500	68	45	85,000
32	9	15,000	50	102	217,000	69	39	65,000
33	27	93,000	51	80	163,000	70	51	116,000
34	26	72,000	52	77	169,500	71	32	66,000
35	18	29,500	53	94	226,500	72	34	72,000
36	19	48,000	54	69	134,000	73	27	62,000
37	25	64,000	55	78	149,500	74	35	71,000
38	19	28,500	56	80	194,500	75	51	88,000
39	34	118,500	57	66	128,000	76	42	73,000
40	36	88,500	58	78	194,000	77	25	43,000
41	33	83,350	59	58	117,850	78	35	56,000
42	46	145,500	60	55	110,500	79	24	39,000
43	45	92,000	61	58	113,000	80	29	49,000
						81	21	39,000
						82	28	60,000
						83	22	37,000
						84	27	51,000
						85	18	38,000
						86	15	30,000
						87	23	44,000
						88	17	37,000
						89	15	30,000
						90	25	53,000
						91	15	30,000
						92	10	21,000
						93	13	27,000
						94	20	44,000
						95	10	20,000
						96	6	12,000
						97	15	30,000
						98	14	28,000
						99	28	66,000
						合 計	2,807	5,897,150



52期 頑張っています

一人ひとりの宝物を磨いてほしい

卒業以来三十五年ぶりの母校ですね。小山 応援練習で校歌・応援歌・凱歌が聞こえてきた。すぐに歌える歌が懐かしい感じだった。

五月初めに望月で一泊の一学年セミナーを行った。生徒は静かに話を聞いていてびっくりした。個別に話しても素直で意欲ある、伸びる力を持っている生徒達と感じた。



小山 壽一校長

同窓会館には広い学習室が準備されていてめぐまれた環境だ。

一人ひとりの宝物を磨いてほしい

学校の週五日制が今年から始まりまし。対応は？

小山 授業の一コマ五十分

支部だより

関西同窓会 京都で心温まる交流会

今春で十三回目。今年度十三回目は、京都東山で青蓮院門跡を拝観。昼食には芸妓さん、舞妓さんが花を添え、祇園甲部歌舞練場で「都をどり」に酔いしれた。

毎回、通り一遍の観光ではなく、興行きのある心が温かくなる交流会が続いている。

今年度の総会は九月一日大阪で開催され、68期の竹内俊隆大阪外国語大助教授(国際関

を六十五分にした。一週間で、五十分の時は平均して一千五百七十五分だったが、六十五分にすると一千六百二十五分で五十分延び、授業時間は確保できる計算だ。内容を充実させるのは今後の課題。自学自習が基本にある。ただ、放って置けばいいのではなく、どうやってこれに向けるかだ。

長野支部 激震の「七夕会」

総会(七夕会)は、七月五日、長野市内のサンパルテ山王で開催された。本部から笠原理事長はじめ五人の役員、中南信支部から武村副支部長、学校から西澤教頭ほか多数の来賓をお迎えし、会員約七十人が出席、盛会となった。県政史上初の知事不信任案が可決されたまさにその当日であり、話題は知事がどのような選択をするのかなど時事問題に終始した。来年の再会を期し、万才三唱し閉会となった。

関東同窓会 十四代会長に石井光春氏

関東同窓会第四十一回総会は七月十三日(土)、神田一ツ橋の如水会館で笠原本部長理事ら招待者を含め約二百六十人が参加して開かれた。

総会では第十四代会長に石井光春氏(54期)が選ばれ、幹事長は成田邦夫氏(56期)を選出。副幹事長や代表幹事を増やして新体制がスタート。会員の結集を強めていくことを確認した。

北海道支部 北の地より母校を思う

札幌ドームで行われたワールドカップの試合も終わり、日本代表はベスト16を果たし若い選手達が活躍した。それに引替え、道支部会は年配の方中心で、何と七三期あたりはまだ若手である。

活動は年二、三回の会食が中心で、今年一月には新鮮な魚、カニ、ウニなど

仙台支部 若人に託す支部会

戦前は仙台上中会と称し、年一回は東北大生・OBを中心に集まっていた。戦後はしばらくして、医学部を中心年一回くらい、故郷や高校の先生方のあだ名等

を肴にだべっていたものだった。昭和十六年に来仙以来六十年。永らく支部長を務めてきたが、若い方に任せて活発な支部会となるよう希望する。

中南信支部 支部総会の案内

案内

日程/平成14年11月7日(日) 午後2時30分~4時

総会及び講演

午後4時~6時 懇親会

場所/ホテルモンターニュ松本、松本市市上三二二

(JR松本駅西口)

TEL 〇二六三(35)六四八〇

講演者/真道(長崎)茂氏(54期)、彫刻家

略歴/東京芸術大学卒、諏訪市に在住し彫刻・絵画の創作活動に活躍中。

皆さまのご出席を心から歓迎いたします。

栄えある受章 おめでとうございます

平成13年度 春の受章者

水澤 博(46期) 勲三等旭日中綬章

平成13年度 秋の受章者

関 延雄(44-4期) 勲五等双光旭日章

山極 隆久(47期) 勲四等瑞宝章

袖山 睦啓(50期) 勲三等瑞宝章

平成14年度 春の受章者

今井甲子男(42期) 勲三等瑞宝章

水野 春海(42期) 勲四等瑞宝章

小林富士雄(48期) 勲三等瑞宝章

原 順一(48期) 勲五等双光旭日章

小沢 泰衛(49期) 勲四等瑞宝章

(敬称略)

オーイ、元気かい!!

59期(昭和36年卒)『還暦大会』のご案内

【大会および懇親会】

●日時 平成14年11月23日(土) 午後6時から

●場所 東京都千代田区一ツ橋2-1-1

如水会館 3階 松風の間 電話 03-3262-0111

●会費 12,000円(恩師への記念品代含む)

※参加の方は各クラス幹事までご連絡ください。

出席のハガキおよび振込用紙は、各クラス幹事より郵送済み。

各クラス単位で、①はとバス都内観光、②フランス料理と東京湾クルージング等企画有り。

第59期会 会長 村居 正雄

クラス幹事

1組	水出 秀雄	・	水出 清仁
2組	荒井 純平	・	小林 賢一
3組	戸田 俊夫	・	有賀 勝雄
4組	石坂 忠昭	・	菊地 徹
5組	宮下 信義	・	金井 国興
6組	山田 豊	・	新津 敬治
7組	柳沢 章雄	・	桜井 資悦
8組	甲田 英明	・	滝沢 武

ふるさとだより

高齢者の 住みよい地域づくりを目指して 馬場町に複合型施設の建設始まる



▲来春完成予定の複合型高齢者施設完成予想図

四人に一人が六十五歳以上という「超高齢化社会」が目前に迫り、一方、核家族化の進行で一人暮らしの老人、寝たきり老人、痴呆性老人が増大している。上田市でも高齢者世帯が増加し、人生八十年時代にふさわしい、健康で生きがいをもって過ごせる環境整備が強く求められている。

特別養護老人ホームへの待機者が増えていることや、介護保険制度の導入で施設整備が緊急課題であること、更に在宅福祉サービスの充実のため

この事業は、丸子町にある社会福祉法人「敬老園」と民間の建設業者が主体になって、馬場町地区に、福祉施設と高層の集合住宅を、平成十五年春の完成を目指して建設しているものである。

特別養護老人ホーム（一〇床）とショートステイ（一〇床）を配置する。更に四階に二八床のケアハウスを建設し、複合的な福祉の拠点

立って生活したいと考えている高齢者が、自立した生活を保障されながら食事・入浴・相談助言・健康管理などのサービスが受けられる施設である。建物は木をふんだんに使った内装で、洗面所もトイレも簡易調理場も備えられている。屋上には運動施設や植物園がつくられ、安らぎのある自由な生活空間が保障されている。また夫婦部屋も用意されているので、人生の後半をゆつくりと楽しんでいただけたらいい。

介護保険が利用

上田発 新しい産業の芽

浅間リサーチエクステンションセンター

浅間リサーチエクステンションセンター（AREC）は、上田市が信州大学繊維学部キャンパス内に設置した産学官連携支援施設である。（二〇〇二年二月二十二日竣工）

「学」では信州大学。繊維学部の研究テーマと企業の技術ニーズを共同開発することで、新技術・新産業・新製品を創出する。「官」では上田市。第三次総合計画後期基本計画の大きな柱として、「活力ある地域づくり」を掲げ、その一環として、産・学・官の連携による新産業の創出と育成を図る。「産」として、企業が技術開発を計るため施設内に研究室を設け、新しい

技術の開発に「学」と共同で取り組める。

AREC施設内には、企業と研究者の共同研究室のほか、ラウンジ（交流スペース）やミーティングルームなどがあり、たくさんの人に情報交換や交流の場を与えている。

今後ARECは、大学と企業の要望を結びつけるコーディネーターを配置し、より効率的に共同研究が進むような体制づくりを目指している。

国際的な地域間競争が激しくなる中、上田地域を発信源に新しい産業の芽を育て、地域全体の活性化につながるよう期待し、着実に地域に根ざすことを望みたい。



▲浅間リサーチエクステンションセンター全景

小諸市出身で文化勲章の昭和四年に茅ヶ崎市に

62期の皆さんへ

本年は62期が会員大会の代表実行委員です。

代議員を中心に盛会に向けてがんばっています。同期生の諸君の大勢のご参加を、お待ちしております。関東、関西地区からも参加予定。



上田 東急イン

国際クリスタルホール

2002ウェディングプラン
希のイメ 100名様 350,000円
★各種特典あり



▲公園より南櫓を望む

上田市は、上田城跡公園の南側のがげ下にあるニヶ淵に公園整備を進めており、駐車場、芝生広場、多目的広場、遊歩道、幼児用スプリング遊具等の広場、あずまやがこの

上田市は、上田城跡公園の南側のがげ下にあるニヶ淵に公園整備を進めており、駐車場、芝生広場、多目的広場、遊歩道、幼児用スプリング遊具等の広場、あずまやがこの

上田城櫓下ニヶ淵公園整備



母袋創一氏(70期) 上田市長に初当選

母袋創一氏(70期) 上田市長に初当選

三月に行われた上田市の市長選挙で新人の母袋創一氏(70期)が現職の平尾哲男氏

母袋市長は「うえだ百勇士委員会」を立ち上げ、テーマを持って討論してもらい、良いアイデアが出れば事業に取り入れることも考えたと市民の市政参画に期待をかけている。

めに、上田市の中心市街地に複合型の高齢者福祉施設が建設されている。

をつくる予定。 ケアハウスは、家族の援助が困難で、不安ではあるが独

できる。比較的低廉な料金で、在宅福祉サービスを受けることができる。こうしたケアハウスは上小地区では初めて設置される。



山極勝三郎顕彰会

山極勝三郎博士は、癌の原因の探求において、「刺激」を挙げ、皮膚の剥き出しになったウサギの耳にコールドタールを塗りつけ、百五十日にガン細胞を確認する。その時博士は病床にあった。連絡を受けた博士は、病床から駆けつけ、顕微鏡をのぞいて「成功、成功」と口ずさみながら室内を歩き

山極勝三郎博士は、癌の原因の探求において、「刺激」を挙げ、皮膚の剥き出しになったウサギの耳にコールドタールを塗りつけ、百五十日にガン細胞を確認する。その時博士は病床にあった。連絡を受けた博士は、病床から駆けつけ、顕微鏡をのぞいて「成功、成功」と口ずさみながら室内を歩き

この自然環境を十分に活かした、高齢者が安全で安心して暮らすことができる地域づくりを目指してほしいと願っている。

受賞者の洋画家、故小山敬三画伯(14期)の神奈川県茅ヶ崎市にあるアトリエが懐古園内の市立小山敬三美術館の隣に今年三月末に移築された。

アトリエは、昭和初期に建てられた木造一部二階建てで、広さは百五十平方メートルあり、アトリエ、書斎、居間、広縁を元の姿のまま忠実に復元している。小山敬三画伯は明治三十年に小諸市に生まれ、フランス留学から帰国した後

小山画伯のアトリエが小諸市に移築

アトリエはフランス留学時のアトリエを模して建てられ、落ち着いた雰囲気である。四月から日曜・祝日を中心に一般公開している。アトリエのみの見学は無料で、平日の場合も事前に申し込みと見学できる。なお、夏休み中は毎日公開。

67期(昭和44年3月卒業) 今年はい員大会の当番期

い員大会後 同期会を開催します。



日時 平成14年9月14日 午後6時30分より
場所 上田温泉 ホテル祥園
会費 5,000円(当日持参)
飯島 康典
同窓会監事代 議 員
宮島幹雄、松高 久、堀内留美、白石三郎、斎藤市之助、沓掛重憲、金井俊樹、中野隆平、沓掛邦雄、中村和俊、池村修三、斎藤 孝、関 秀雄、酒井幸男、島田晴夫、中村和江、池村修三(自)0268-38-4157、金井俊樹(携)090-1533-9159

母校の班活動紹介

昨秋新人大会で県制覇を果たした空手道班、今春の高校野球北信越大会長野県大会で松商を下し県ベスト8を決めた野球班、また、全定混成の棋道班等々うれしい活躍がまた刻まれた。

◆空手道班 日々精進

我々空手道班は、他の班に比べると人数は少々少なめですが、毎日頑張って練習しています。毎年困っているのが活動場所です。創立してから十数年とまだ若い班のためか学校の施設を利用することがなかなかできません。普段は千曲川沿いの直心館道場を利用させていただいています。しかし我々は地区大会で好成绩をおさめ、春に全国選抜大会に出場することができました。結果は初戦敗退でしたが、非常にいい経験でした。これからも日々精進していくつもりです。

(三年 青木誠治)



▲北信越大会活躍あれ！(6.6 壮行会)

各班の主な成績・戦績(平成13年夏以降)

Table with 2 columns: 学芸班 (Academic/Art) and 成績 (Achievements). Rows include Chess (将棋), Music (吹奏楽), Calligraphy (書道), Mixed Chorus (混声合唱), Drama (演劇), Literature (文芸), and Art (美術).

Table with 2 columns: 運動班 (Sports) and 戦績 (Achievements). Rows include Judo (柔道), Karate (空手道), Soccer (サッカー), Tennis (男子テニス, 女子テニス), Badminton (男子バドミントン, 女子バドミントン), Table Tennis (男子卓球, 女子卓球), Archery (弓道), and Swimming (硬式野球, 水泳).

◆テニス班

東信のレベルを上げるぞ！ 私たちテニス班では、普段学校のコートで毎日練習しています。屋外の活動が中心なので、冬は練習があまりできず、トレーニングなどを主に行っていました。日ごろの練習の甲斐もあって、今春の高校総体東信大会では女子優勝・男子準優勝、県大会では女子ベスト4という成績をおさめることができました。上田高校の活動を通して、東信全体のレベルを上げられるよう日々努力しています。

(二年 丸野崇志)

◆棋道班

棋道班は毎日放課後、講義室で男女とも熱心に、そして楽しく活動しています。現在班員は定時制を合わせ二十五人になります。大会成績は、将棋では昨夏選手権個人全国三位、今夏の県選手権では男子個人・団体が共に優勝で、女子個人一人と共に全国大会に出場します。囲碁も今夏男女全国出場します。応援よろしくお願いします。また、現在班内で「濃い」という言葉が流行しています。対局で個人的な手を指したときや個人的なその人の性格に対して、言う側は一言「濃い！」。

(二年 丸野崇志)

その姿はさながら運動班。そんな文化班です。昨年は地区大会で文句なしぶつちざり！の一位でした。等身大の高校生を演じきったつもりです。そうして県大会まで出場しましたが、まだまだ練習が必要です。一つの作

きたいと思っています。(三年 宮坂聡史)

◆演劇班 ザ・大魂役者

私たち演劇班は毎日フル活動です。公園で発声練習をしたり、台本を読んだり「写真」、筋トレやランニングまでします。



◆柔道班

柔道班には、どの班にも負けない事があります。もちろん体重の合計が一番多いという事ではありません。それは個人技を超えた団結力と大きな背中を持つ事です。先日の県大会では三人の先輩が北信越のキップを手にしました。畳の上に立つ見慣れた背中が、一段と大きく力強く見えました。あの大きな背中には、人を背負うからではなく、みんなの応援や努力の積み重ねを背負っているから格好良いのです。柔道班、自慢の背中なのです。(一年 畑萌子)

品をつくりあげるのには、大変ですが、全員が良く連携して取り組み頑張っています。(三年 川瀬加奈子)

育の本来の姿を、数多くの場で目指しています。
□一貫した少人数主義
□地域の要望に応える内容
□人を育て、自らも学ぶ教育
30年の歴史の上に、新しい伝統を築くために。

校法人成田会・YSAグループ
理事長・校長 成田(65期)
長野医療衛生専門学校
国際高等学院長野校

同期会だより

【40期】

二十九人参加し六月二日

ホテル清風園で開く

幹事は川西同志会・級会を統合して同期同窓会とし、毎年開催する事半世紀。これは誇りである。恩師を招いての物故者の慰霊祭、文集の作製、ビデオ製作も完了。小林郷司、荻原愈、両幹事の在京同期生の集いも活発。最近では山崎民雄君の発起、小野貞雄君幹事の閉巻の会も年三回有志諸兄全国より参集して、上山田温泉で開催。年齢も問近な40期同窓会が毎年出来るのは、当初より二十数年にわた

り常任幹事だった故小山弥吉君の功績と謝したい。ご子息が今年四月より母校の校長に就任された。(同慶の極み)

(藤森富男)



▲第40期同窓会(6.2 上山田温泉)

【50期】

50周年記念総会開催

平成十四年は、50期にとつて50周年の記念すべき年です。

第二次世界大戦の翌年、上山田中学最後の生徒として入学したのは六年間、新制中学からの者三年間、古城の門をくぐった仲間も68、69歳となり大方は現役を離れ、自分の時間を有意義に楽しんでいる。

50期会は二年に一度全国総会を開催し、定例会は偶数月に上小在住者を中心に上山田で開催している。五月の50周年記念大会は、八十五人参加で盛会。

OB会つうしん

◆硬式庭球班

62期の島田基正会長のもと、現在会員数は約三〇〇人です。活動としては毎年八月に市営西コートで現役を交えてのOB会の開催と現役員への指導、支援が主ですが、夏のOB会は昨年で三十三回を数えるまでになった。この会は初代顧問の安江昭祐先生の呼びかけにより始められたもので、当初は「テニスをした後にヤキトリで一杯」といった気軽な集まりであったようですが、ここまで長く続くことになるとは当時安

全国50周年記念総会は十月十八日、別所温泉で物故者七十余人の法要と半田孝淳僧侶の講話、矢嶋嶺氏の講演など準備を進めている。

(代表幹事 竹内理三)

【60期】

雨にぬれた紫陽花が一段と深みを増してきた今日の東京。皆様がいかがお過ごしですか。我々60期卒業の在京の仲間は四組を中心に年四回高輪のホテルに集合して生存を確認しあっている。この年代になると方程式どおり3グループに分かれてきた。会社や事務所を経営したり役員になってバリバリ仕事をしている人達、子会社に天下りして悠々自適の日々を送る人達、それ

に、私を含め、窓間で間もなくやって来るペンションライフの計画をワクワクしながら立てている人達。それぞれの生き方は異なっても、故郷を思い、再びかえらぬ青春時代を懐かしむ気持ちは同じです。いわゆるビジネスフレンドとは違い何の利害関係も無く、会った瞬間四十年以上タイムスリップしてハゲや白髪はさっておき、皺の中にお互いの特徴を見つけ出し皆で大騒ぎする事は女房子供達には理解しがたい大人の至福のときです。「青春帰郷の会」と名付けている。在京の同期生、上京の折り都合のつく諸兄、どうぞ参加を。

(川上知行)

◆上中ネービー会

上中ネービー会は、五月二十七日、初めて母校で開催し、同窓会館に集合した後、34期卒の坂口昌三中佐の顕彰碑(東部町・長命寺)に全員で参拝し、市内で会食をした。当日は、遺族を含め二十人の出席があり、中には、母校へ数十年ぶりの訪問という会員もあった。五十数年前の思い出話や、久しぶりの再会に時間も忘れて楽しいひと時でした。なお、上中ネービー会とは、旧海軍兵学校へ進んだ同窓生の集まりで、必然、最も若い人が70歳を超えることとなった。

(44-4、母袋恭二)

【70期】

70期は同窓会節目の年の当番期のため大変結束が固い。個々には目立つことが嫌いな輩でも、何か困ったことがあれば、たちまち集合し、快く協力し合う。実に人の良い仲間たちである。また、積極的に行事にかかわるので、諸先輩方とも交流が深まり、存在感も増している。母校への卒業三十年の記念品は、百周年の際に、68・69期と合同で体育館のマットを贈った。古城の門を出てから早三十年。50歳を前にもうひとがんばり。正月には、また同期会を計画しているので大勢の参加を期待している。みんな、出てこいや!

(大橋俊彦)

◆新聞班

新聞班が発行してきた「上田高校新聞」が昨年、ついに200号を迎えた。時代により、紙面の内容はいろいろ変わりますが、一つの金字塔ではないでしょうか。今年初めには平成以降のメンバーが集まって食事会が行われた。なかなか盛会で、全く面識が無かったもの同士でしたが、新聞発行の際の苦労話などの昔話をしながら交流を温めた。これを機にOBによる組織を立ち上げるなど、何かやってみませんか。OBの方、顧問を務められていた先生方、ご連絡お待ちしております。

(95・小林 純)



77期がんばっています

2000年版会員名簿の訂正

次の方々に迷惑をおかけ致しました。お詫びして訂正させていただきます。

☆印(ご逝去)取り消し

- ・ 19期 渋谷 潤意 (めでたく100歳になられました)
- ・ 51期 竹田 三郎

住所訂正

- ・ 52期 中沢 昭雄
〒386-0027 上田市常磐城 3-11-21 TEL 0268-24-0873
- ・ 56期 中沢 昭雄
〒386-0002 上田市住吉 615-2 TEL 0268-23-1395
- ・ 92-2期 吉池 満
〒247-0063 鎌倉市梶原 2-32-3 鎌倉梶原寮 106号
TEL 0467-43-5955

住所掲載もれ

- ・ 53期 関 幹夫
〒465-0084 名古屋市名東区西里町 1-43-1 TEL 052-701-1853

卒業生・組違い

- ・ 46→47期 山田 晶司 ・ 55 → 53期 峯岸 哲造
- ・ 91→92期 若林 修 ・ 78期 4→2組 横関 和

次の会員名簿発行は8年後の2010年の予定です。2000年版会員名簿発行以後2年間に転居・ご逝去された方は約900人ですが、すべての方を掲載するスペースがありません。あしからずご了承ください。(敬称略)

母校の状況

【生徒数】

(平成14年5月現在)

学 年	全 定 制				全 日 制				定 時 制					
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	4年	計	1年	2年	3年	4年	計
クラス数	9	9	9	27	1	1	1	1	4					
生徒数	男	220	185	195	600	18	14	8	6	46				
	女	148	174	170	492	10	16	10	8	40				
数	計	368	359	365	1092	28	30	18	14	90				

生徒数 全・定合計 1,182人 (男 646人、女 536人)
 教諭・講師 82人 事務職員 4人 助手・校用技師 6人
 学 校 長 小山 壽一 全日制教頭 西澤 善明
 定時制教頭 保科 克弥 事務 長 両角 奎吾

ご 注 意

上田高校同窓名鑑を発売したいので、名簿作成のご協力と購入を依頼するというハガキが最近同窓生宛に送付されております。本会とは全く関係ありませんので取扱いには十分ご注意ください。

◆ 同窓会事務局長交代

同窓会事務局長が四月一日付で交代した。新任の事務局長は、59期の藤田克彦氏。

同窓会事務局からのお知らせ

◆ 水野春海さんを囲む会

長い間編集委員会のご指導をいただいた水野前理事長が、勲四等瑞宝章を受章された。編集委員会ではお世話になった方々と共にお祝いした。



祝 勲四等瑞宝章受章
水野春海さんを囲む会

編集委員(期)

- 副理事長 小山 正子 (57)
- 担当理事 柄沢 堯 (62)
- 委員長 香山 裕 (55)
- 副委員長 増田 幸一 (64)
- 副委員長 池村 修三 (67)
- 委員 長谷川和生 (64)
- 委員 市川 泉 (69)
- 委員 高橋 明 (70)
- 委員 酒井万里子 (70)
- 委員 小田切 亨 (73)

資料室整備の一環として、「同窓生の出版物コーナー」を資料室の一角に設置することになりました。つきましては出版物の寄贈をお願い申し上げます。

◆ 出版物寄贈のお願い

- #### 教職員計報
- 平松 剛先生 (国語) H 14・1・9 逝去
 - 栗本 宗男先生 (数学) H 14・2・22 逝去

● 同窓会ホームページ <http://www.ueda.ne.jp/~uhd/>

平成13年度進路状況 (合格者数)

上田高校進路指導室調べ(5月2日現在) ()内は、うち数で過年度卒業生

国立大学	117 (47)	信 州	22 (8)	早 稲 田	32 (17)	女子栄養	2	北海道医療科学	4 (4)	聖母女子短期	1
北海道	1	岐阜	2 (2)	慶 応	10 (5)	芝浦工業	14 (9)	昭和薬科	2 (1)	東京農大短期	1
弘 道	2 (1)	静 岡	2	中 央	38 (21)	昭和女子	2	明治薬科	4 (2)	帝京平成大短期	1
東 北	3 (2)	愛知教育	2	日 本	41 (26)	多摩美術	1	東北薬科	2 (2)	青葉学園短期	1
山 形	3 (2)	名古屋	5	青 山 学 院	18 (9)	大東文化	4 (3)	東京薬科	4 (3)	埼玉医科大短期	2 (1)
福 島	1 (1)	京 都	3	東 洋	18 (9)	獨 協	8 (3)	新潟薬科	2 (1)	山梨県立宝石美術	1
茨 城	3 (2)	神 戸	1	専 修	13 (5)	津 田 塾	4 (1)	東 邦	4 (4)	長野赤十字看護	3
筑 波	4 (1)	大阪外国語	1	重 細 重	2 (1)	東 京 農 業	4 (3)	東 邦	3 (2)	国立長野病院看護	1
宇 都 宮	2 (2)	奈良女子	1 (1)	大妻女子	7 (3)	東京理科	26 (21)	北 陸	1 (1)	松本医師会准看	1
群 馬	8 (2)	琉 球	1	桜美林	2	帝京平成	2	同 志 社	8 (6)	長野医療技術	1
埼 玉	7 (3)	●公立大学	20 (6)	学 習 院	8 (2)	千葉工業	6 (5)	立 命 館	13 (3)	ハリウッド美容	2
千 葉	4 (2)	はこだて未来	1	共立女子	2 (1)	日本女子	4 (1)	近 畿	3 (2)	日本児童教育	1
お茶の水女子	3 (1)	東京都立	3 (1)	工 学 院	8	文 教	6 (6)	京 都 産 業	6 (4)	上田情報ビジネス	1
電気通信	2 (2)	大阪都立保健科学	1 (1)	國 學 院	6 (4)	武 蔵 工 業	8 (4)	京 都 女 子	2	北里大保健衛生	1
東 京	4 (2)	横浜市立	1 (1)	駒 澤	5 (2)	武 蔵 野 美 術	1	関 西	3 (1)	北里大保健衛生	1
東京外国語	1	高崎経済	4 (1)	国 立 音 楽	2	武 蔵 野 音 楽	1	関 西 学 院	3 (3)	国際製菓	1
東京学芸	2 (1)	長野県看護	3	国 士 館	6 (3)	明 治 学 院	6 (3)	兵 衛 医 科	1	国際文化理容美容	1
東京工業	2 (2)	前橋工科	1	神 奈 川	8 (3)	明 星	3 (2)	その他の私大	41 (28)	東京モード学園	1
東京水産	2 (1)	山梨県立看護	1	関 東 学 院	2 (1)	北 里	9 (4)	●国立短大	5	昭和医療技術	2 (2)
東京農工	2 (2)	都留文科	1	国 際 医 療 福 祉	2	杏 林	2 (1)	長野県短期	8	長野医療衛生	1 (1)
横浜国立	8 (2)	静岡県立	4 (2)	白百合女子	2 (1)	昭 和	2 (2)	信大医療技術	2	群馬パース看護	1 (1)
新 潟	5 (2)	●私立大学	596 (324)	上 智	6 (4)	帝 京	16 (5)	山梨県立女子	11 (1)	釜淵デザイン	1 (1)
上越教育	1 (1)	明 治	34 (18)	洗 足 学 園	1 (1)	東 京 慈 恵 会 医 科	1 (1)	●私立短大	1	防衛大学校	2
富 山	3	法 政	31 (17)	成 蹊	9 (4)	藤 田 保 健 衛 生	2 (2)	明治大学短期	1	●就 職	2
金 沢	4 (2)	立 教	12 (6)	成 城	4 (3)	東 海	11 (7)	青山学院大短期	1	国家公務員初級	1
								女子栄養大短期	1	航空自衛隊防務基地	1

57期諸兄にご案内

同期生の交流を図るため、先輩・後輩を交えて毎月8日に懇親会を開催しております。お気軽にご参加ください。

<八日会>

- 荒井 純平 石合 孝美 伊藤 健介
- 倉沢 謙次 下城 右伸 鈴木由紀夫
- 龍野 一郎 西田 不折 深町 浩一
- 堀内三喜男 本田 昌彦 松尾 公夫
- 湊 文甫 横関 晴弘

同窓会本部

副理事長 小山正子
理事 西田不折

57期幹事

幹事長 柳沢文哉
副幹事長 坂田哲朗
理事 横関晴弘
監事 島田潤一
監事 下城右伸
監事 石坂賢一
監事 石合孝美
監事 佐藤 悖
監事 荒井 宏
監事 伊藤健介
監事 倉沢謙次
監事 小枝千祐

事務局 深町浩一
監事 吉沢恒敏
監事 高桑 功
監事 箱山宗一
監事 鈴木由紀夫
監事 川上元一
監事 坂田哲朗
監事 小川幸二
監事 寺尾幸彦
監事 吉沢恒敏
監事 森 大和
監事 小堀明雄
監事 小林毅一郎